

4年生「社会科」の学習

4年生では、こんな学習をします。

*学習の目標

- (1) 地域の人々にとって必要な飲料水、電気などの確保やごみの処理について調べ、これらの対策や仕事は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを考えるようにします。
- (2) 古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころの様子、また、地域に残る文化財や年中行事、そして地域の発展に尽くした先人のはたらきを調べ、人々の生活の変化や人々の願い、はたらきや努力を考えるようにします。
- (3) 広島県について、市の位置、県全体の地形や主な産業、交通網の様子そして特色のある産業を調べ、資料を活用したり白地図にまとめたりして、広島県の特色を考えるようにします。

☆授業の工夫



- 見学や聞き取りによって具体的に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用して調べたり、調べたことを工夫して表現したりする活動を取り入れ、活気に満ちた学習を展開します。
- 調べたことや表現したことに基づいて、社会的事象の背後にある人々の願い、それを実現する工夫、努力や協力を多くの人々の営みを通して考える学習をすすめます。
- 子どもたちの発達段階や学習経験をふまえ、調べたことを絵地図、造形などに表現して発表する活動を行います。さらに個性を生かしながらグラフ、文章などを活用した新聞作りなどの活動へと発展させ、表現する力を高めるよう工夫します。

☆年間の学習計画

前期		2 暮らしのうつりかわり		(1)広島市の位置と広島県の様子Ⅱ	
単 元 ・ 題 材	1 けんこうなくらしを守る	14	(1)古い道具と人々のくらし	7	4
	(1)くらしをささえる水		(2)地域の開発につくした人々	5	8
	(2)ごみのしまつ	16	後期	18	7
			(3)文化財や年中行事	4	2
			3 わたしたちの県の様子		
			(1)広島市の位置と広島県の様子Ⅰ		
補充・発展					

☆評価の観点

【社会的事象への関心・意欲・態度】

社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して社会の一員として自覚をもって責任を果たそうとすることができる。

【社会的な思考・判断】

社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味を考え、適切に判断することができる。

【観察・資料活用の技能・表現】

社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料（絵、図、地図、写真、グラフなど）を効果的に活用したりするとともに調べたことを表現することができる。

【社会的事象についての知識・理解】

社会的事象の様子や働き、特色及び相互の関連を具体的に理解することができる。

☆評価の方法

- ・ 普段の学習態度や発言
 - ・ 学習ノートへの記述内容
 - ・ 学習ノートへのまとめ方
 - ・ 家庭学習の進め方
 - ・ 資料等の読み取り及び制作
 - ・ 社会科学習のてびき
 - ・ 単元ごとのテスト
- などを総合的に評価します。

